

《本ファイルの構成について》

★このファイル「B:校舎の安全確認・連絡調整」は、次の2つの大項目に分かれており、それぞれリングで留めてあります。

★市職員のうち、最低1名は避難所現地本部に残ります。次に、防災行政無線を活用した連絡調整を優先し、残りは安全確認に携わります。
※なお、学校教職員は、可能な範囲内で安全確認作業に協力します。

①校舎の安全確認・ライフラインの被害確認

1) 外から校舎等の安全確認

屋外から校舎の外観及び地盤の状況を確認して、屋内に進入可能かどうか判断します。

- 甚大な被害なし：校舎内への安全確認・設備確認へと進みます。
- 甚大な被害あり：建物には近づかず、学校避難所班に報告します。

2) 校舎内の安全確認・設備確認

- ・安全確認チームを編成します。
- ・装備の確認をします。
- ・安全確認・設備確認を実施します。
- ・結果を避難所現地本部に報告します。

※余震や被害発生箇所に注意しながら、建物及びライフラインの被害確認をします。必ず2人以上で行動するようにし、危険を感じたら速やかに脱出します。

②防災行政無線での連絡調整

1) 防災行政無線を移動します。

安全確認が終わった職員室へ入り、防災行政無線の作動確認をします。必要に応じて、予め決めた場所へ防災行政無線を移動させます。

2) 校舎内の安全確認・設備確認

防災行政無線で連絡調整を行います。

①

校舎の安全確認

1) 外から校舎等の安全確認をします。

① 外から校舎等の安全確認

以下のチェックリストを参考に、校舎等の被害状況を確認します。

チェック項目	被害状況
①学校に隣接する建物やフェンス等の構造物が傾くなどして、校舎等に倒れる可能性がありますか？	A：倒れ込みそうである B：傾いている感じがする C：いいえ
②校舎等が沈下していたり、周辺の地盤が沈下していますか？	A：ひどく沈下している B：沈下している C：いいえ
③一部の階が潰れる被害はありますか？	A：一部の階が潰れている C：いいえ
④校舎等は傾いていますか？	A：明らかに傾いている B：傾いている感じがする C：いいえ
⑤建物外側の柱や壁に大きなひび割れがありますか？	A：大きなひび割れが多数あり、鉄筋も見えかけている B：比較的大きなひび割れがある C：いいえ

※A～Cの数を集計し、それぞれの状況に応じて次の対応をします。

《Aが1つでもある場合》

建物の使用は『危険』です。建物には近づかず、学校避難所班（220）または災害対策本部に連絡します。避難者には他の避難所をご案内します。

《Bが1つでもある場合》

建物の使用は『要注意』です。建物には近づかず、学校避難所班（220）または災害対策本部に連絡し、指示を仰ぎます。

《Cのみの場合》

余震や被害発生箇所に注意し、屋内の安全確認へと進みます。

①

校舎の安全確認

2) 校舎内の安全確認・設備確認をします。

① 安全確認チームを編成します。

必ず2人以上でチームを編成します。人員の確保状況に応じて、チーム数は調整してください。なお、避難者の中に建築士等がいれば、協力を仰ぎます。

② 装備の確認をするとともに、避難所現地本部に避難所開設に必要な鍵を確認します。

装備名	備考
外履き	ガラス等の飛散が考えられるため、外履きを着用するか持参する。
ヘルメット	避難所開設アクションカードセットの中にあるものを使用するか、職員室等にあるものを借用する。
懐中電灯	夜間の場合、懐中電灯又はヘッドライトを持参する。
チェックシート ・筆記用具	安全確認・設備確認チェックシート及び筆記用具を持参。

③ 安全確認・設備確認を実施します。

別紙「安全確認・設備確認チェックシート」を用いて、校舎内の安全確認及び設備確認を実施します。

- 【1】第1段階の安全確認・設備確認として、職員室等までの安全確認を行い避難所開設に必要な鍵を確保します。
- 【2】避難所開設に必要な鍵を持参し、避難所現地本部へ一度戻ります。
- 【3】第2段階として、残りの安全確認及び設備確認を続けます。

※途中で、●●にあるアルコール消毒液を確保し、現地本部へ。

④ 結果を避難所現地本部に報告します。

安全確認・設備確認の結果を避難所現地本部に報告します。

②

防災行政無線での連絡調整

1) 防災行政無線を移動します。

★防災行政無線の移動

安全確認が終わった職員室から、【校長室】付近へ防災行政無線を移動させ、支障なく通信が可能かどうか確認します。

2) 防災行政無線で連絡調整を行います。

★災害対策本部等との連絡調整や状況報告

＊原則として、災害対策本部等との連絡調整は、市職員を中心に行います。

＊災害対策本部等との連絡調整は、学校避難所班（無線番号：220）を経由して実施します。その後の対応は直接行う場合もあります。

【参考】各避難所現地本部における学校避難所班との連絡調整内容一覧